

## 営農指導員の

ワンポイントアドバイス

営農指導員 永興 啓

### 栽培 キンセンカ(カレンジユラ)の

#### 経営上の特性

キンセンカは仏花としての需要が高く、キクやアスターと同様によく売れる花です。栽培は比較的容易で、労力や経費も少なく済むので、直売所向きの花といえます。

沿岸部の暖かい地域で、春の彼岸向けに、露地で栽培されるのが主流ですが、今回は市内でのハウス栽培について紹介します。

なお、まばらに開花する特性があるため、

まとめて出荷するに  
は、できる  
だけ広い面  
積で栽培す  
ると有利で  
す。



#### 作型例

8月下旬～9月に播種(種まき)し、播種から30日後くらいにハウス内に定植します。

切り花は3月頃です。

#### 栽培の方法

##### (1) 主な品種

①オレンジスター

草丈が伸びやすい早生品種

②ゴールドスター

耐寒性が強い品種

③中安

高品質、多収性の中生品種

(2) 育苗・植え付け

種子は散播(ばらまき)し、薄く土をかぶせます。夏の高温期に播種(種まき)するため、寒冷紗で日除けをします。

本葉が5枚(播種後30日くらい)になると、条間40センチ株間20センチに植え付け、充分灌水(かんすい)します。

肥料は、チッソ、リン酸、カリ各成分とも1アール当たり2.5キロ程度で、そのうち基肥に6パーセント程度を施用します。

(3) 生育中の管理

本葉10枚の時に、6～8枚残して摘心(てきしん)の最先端の芽を摘み取る(こと)し、仕立て本数を5～6本とします。

(4) 病害虫

①うどん粉病 換気をよくし、多湿にならないように注意するとともに、早めの防除に努めます。

②ヨトウムシ 幼苗期に食害するため、殺虫剤を土壌に混ぜておきます。

#### 問い合わせ

農業振興課農業振興係

☎0824・73・1131

## 庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



本村町で飲食店を営む  
蔵原祐次さん(右)・香織さん

本村町に家族で移住し、鉄板食堂をオープンした蔵原さんに、移住のきっかけなどを聞きました。

#### 物件に一目ぼれ

私(祐次さん)は、広島市内の飲食関連会社に勤めていましたが、寝たきりの娘を夫婦でケアするため、県内で自営業ができる古民家を探していました。

娘が特別支援学校に通える範囲で物件を探していたところ、庄原市の空き家バンクに載っていた物件を見つけました。運命的なものを感じ、見学を経て、令和3年12月に庄原市へ移住しました。

業者の人と協力して古民家を改装し、店舗部分は入り口もお手洗いも車いすで利用できるように工夫しました。

そして、令和4年4月4日に「岩月鉄板食堂 淑(yoshi)」をオープンしました。「淑」という店名と開店日は、娘の名前にちなんでいます。

開店日からたくさんのお客さんに来ていただき、地域の人たちが「本村にお好み焼き屋さんができたら！」と喜んでくれて本当にうれしかったです。

私は、高野町生まれで庄原格致高校出身なのですが、同級生や先輩もお店に来てくれて感謝しています。

#### 田舎暮らしを満喫

庄原市に住んでから、娘の状態も落ち着いています。また、転校した息子も思った以上に早く新しい環境に馴染むことができ、児童会長に立候補するなど、のびのびと過ごしています。以前は、夕食を家族で取ることがほとんどありませんでしたが、今はみんなで食べられるようになり、その時間がとても心地良いです。

近所の人たちからは、野菜やおかずをいただいたり、私からもお返しをしたり、田舎ならではの「お裾分け文化」を楽しんでいます。

また、自宅の蔵を改装して、いつか民泊を受け入れたいと思っています。私のように、移住してお店を始めたい人がいたら、私の経験を何でも話して庄原市の古民家再生に貢献したいです。

#### 問い合わせ

自治定住課定住推進係

☎0824・73・1257